



別海町長
曾根 興三

ておめでとうございます 願いいたします

明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、新しい年の幕開けを心健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政各般にわたり温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私は、昨年、前町長の急逝という、予期せぬ事態からの町長就任となりました。

以来今日までの半年間、さまざまな場面に於いて町民の皆様にお目にかかる機会を得、お話しをさせていただく中で、皆様からの信任の重さを改めて強く胸に刻んでおります。

就任時の行政執行方針で私は、「故郷が丸となって活力あるまちづくりに推進できるよう、町民と心ひとつに町政運営に力をつけたい。」と申し上げましたが、変わらぬ思いのまま、本年も全力で町政運営に取り組んでまいります。

昨年を省みますと、まさに「激動」と言っても過言ではない1年であったと実感しております。

先に申し上げたとおり、新年度がスタートして間もない5月に、現職の町長を突然に失うという、本町にとって前例のない危機的状況を迎えました。しかしながら、このような難局を無事乗り越えることができたのも、町民の皆様のご支援とご協力をいただけたからこそと受け止めております。改めて深く感謝とお礼を申し上げます。

また、8月には観測史上初めてのことでありましたが、台風が相次いで北海道に上陸し、本町の道路等のライフラインや産業に大きな被害をもたらしました。特に豪雨による牧草畑の浸水は、その後の2番草の収穫作業の遅ればかりではなく、本年の牧草収穫量にも大きな影響があるものと懸念しているところで

一方で、明るいニュースも飛び込んでまい

りました。昨年9月に北海道教育委員会が公示した「公立高等学校配置計画」において、平成26年度以降2学級に減となっていった別海高等学校の普通科の間口が、平成29年度から1学級増になることが正式に決定いたしました。この喜ばしい結果に結びついたのは、偏に前町長をはじめ議会、関係団体の皆様が一丸となって、高校への支援施策や関係機関への要請など学級増に向け取り組んでいただいたことによるものと確信しております。今後も魅力ある学校づくり、そのための環境づくりを高校と連携して進めていきます。

師走に入り12月には、株式会社べつかい乳業興社が、牛乳やチーズなど安全で良質な乳製品を核に地産地消による地域経済の循環に貢献したことが高く評価され、農林水産省の「ディスプレイ農山漁村(むら)の宝」において、全国769地区の取り組み事例の中から、見事グランプリに選出される快挙を成し遂げました。大変喜ばしいことであり、本町にとつて大きな自信と励みになったものであります。

国内の状況に目を向けますと、12月に入りTPPが関連法も含め参院本会議で可決承認されました。貿易と投資の自由化を目指すこのTPP承認は、安倍政権が最重要テーマに掲げ進めてきたものであります。米国はトランプ次期大統領が離脱方針を示しており、TPPの発効のめどはたつていない現状にあります。

米国の新たな動きに大きく左右される中、引き続き今後の向かう先を注視していく必要があると考えております。

さて、このような状況の中、本町にとって平成29年度は、第6次総合計画の終盤となる第9次実施計画期間となります。これまで取り組んできた施策や事業の成果をしっかり検証し、計画最終年度である平成30年度に向け、

また、平成31年度から始まる第7次総合計画を視野に主要施策を着実に推進しなければなりません。

現行の総合計画に基づいて実施してきた酪農の担い手対策や守り育てる漁業の推進、中小企業支援のための各種振興施策や体験観光の基盤強化などの産業振興策に対し、これまで以上に関係機関と協議を重ね、制度の充実と強化を図ってまいります。

また、子育て世代の応援や老後の安心を提供する取り組みも主要な施策であります。

地域子ども・子育て支援事業については、地域の実情、ニーズに沿った推進を図ってまいります。高齢者福祉に関しては、高齢者のお一人おひとりが、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていただくことができるよう、関係機関と連携し、高齢者を地域で支える環境づくりの取り組みを目指します。

現在、3年間の策定期間中の2年目である「天白別演習場周辺まちづくり構想」については、構想の中心となる(仮称)生涯学習センター建設に向け、今年度中に策定する「基本計画」を踏まえ、町民の皆様と情報を共有し合いながら、平成29年度中により具体的な計画となる「実施計画」を策定します。

この他にも、山積している諸課題に対し、総合計画および平成27年度に自立的かつ持続的な地域をつくり出すことを目的に策定した「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、熱意と勇気をもって、本町の特性を活かした関係事業、施策に取り組む所存であります。どうぞ、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、新しい一年が、町民の皆様にとりまして、希望に満ち、健康で笑顔あふれる年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



別海町議会議員

松原政勝

町民の皆様 あけまして 本年もよろしくお

町民の皆様、明けましておめでとございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

希望に満ちた平成29年の輝かしい新春を、健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より議員活動、議会運営にあたたかいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、北海道を襲った台風7号、11号、9号、10号は多くの被害をもたらしました。これまで、台風被害とは縁遠い北海道においては、経験したことのない暴風、豪雨により大きな被害が発生しました。特に、道路や鉄道の被害は住民の生活に大きな支障をきたし、生活路線、経済路線を分断しました。被害の大きい自治体は遅ればせながら激甚災害の指定となりましたが、JRの被害は対象外となったため、北海道における数少ない公共交通機関について、国において柔軟な応援が必要と考えます。今までは、農作物や施設などの被害がクローズアップされてきましたが、これからは、災害復旧のスピードアップや観光に対するケアも重要であると考えています。最近「観測史上初めて」という言葉をよく耳にしますが、これからは、想定外の範囲を拡大し、あらゆる場面での行動を普段から取り組まなければならないという思いを強くしたところであります。

昨年6月には消費税増税延期が決まりま

した。景気の回復やデフレ脱却が見込めないことが理由のようですが、人口減少や少子高齢化問題等の社会的不安要素などの先行き不安も考えなくてはなりません。国は本年9月までに景気を回復基調とするために、弾力的な事業を実施し、一日も早く国民が景気回復を実感できる状態を望みたいものです。

特に、TPPについて議会としては、農業をはじめ地域の経済や雇用に甚大な影響を及ぼすことから、昨年はJA北海道中央会へ出向き研修会を行い、さらに北海道農政事務所を招いて勉強会を実施いたしました。アメリカ合衆国大統領がトランプ氏となったことから先行きは不透明でありますが、引き続き議会を挙げて地域経済を守る姿勢を貫いていきます。

さて、本町においては、昨年5月に現役町長の逝去という特異な対応をしなければなりませんでしたが、職員の努力と機動力により多事多難を着実に乗り越え無事町長を迎えることができました。

これも、皆様のたゆまぬ願いと伝統を誇る根強い実行力により新年を迎えることができましたことは、まことにご同慶にたえない次第であります。

町民生活の安定と福祉の向上を図るため、議会では、(仮称)生涯学習センターの建設について十分な検証を進める所存であります。さらに、別海高等学校教育支援や地域子ども・子育て支援事業並びに中小

企業振興対策など、町民から受けた負託の責務と役割の大きさを深く自覚し、チエツク機関として研鑽を重ね政策提言などの活発な議会活動に引き続き取り組んでまいります。

当議会では、昨年11月に町内4会場において開催した、議会報告会に多くの町民の皆様に参加をいただき、議会に対する貴重なご意見やご提言などを直接聴くことができました。寄せられましたご意見等は、十分に検討して議会運営に反映させていくこととしておりますし、2月には「議会だより」とともにご報告できるものと思っております。今年も、町民に開かれた議会を目指して努力する所存であります。

本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

